

新型コロナウイルスの影響を受けた 地域活動に関するアンケート報告書

令和2年6月
荒尾市地区協議会会長会

◇調査概要

1. 調査の目的

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、4月16日には本県を対象とした緊急事態宣言が発令され、在宅勤務・事業者への休業や外出の自粛などが要請された。5月14日には宣言が解除されることとなり、個人の行動や経済活動等の制限も解除される中、感染対策とこれまでの地域活動の機能の回復をどのようにして両立させていくかを検討していく必要がある。

荒尾市における地域活動については2月末頃から現在までにかけて、地域活動の自粛や会議の延期、規模縮小等の対策を行っている状況である。

そこで、当調査を実施し、コロナ禍における地域活動の再開の考え方や、地域活動の中で必要性が高いと思われる事業を整理し、段階的な地域活動再開にあたって必要な対策等を検討するものである。

2. 調査設計と回収結果

調査対象	市内12の地区協議会の役員・理事等
調査方法	郵送配布・郵送回収
配布数	349通
有効回収数（回収率）	218通（約62.5%）
調査期間	令和2年6月10日～6月21日まで ※ただし6月26日到着のものを含む

3. 調査結果概要

長期にわたる自粛期間中、地域活動の停滞による影響としては、地域内交流事業や福祉事業の中止による高齢者の健康面に与える影響への不安が最も大きかった。各地区のグラウンドゴルフ大会等の交流事業やいきいきサロン、独居世帯の訪問などができなくなったことにより、高齢者の孤立や、生活をしていくために他者の助けが必要な人の存在が見えにくくなっている課題がある。

一方で自粛期間の終了とともに、各地区で地域活動の再開を検討されているところであるが、再開の可否の判断や講じるべき感染対策について、判断が難しく、自粛や延期の対応を採らざるを得ないと考える方も多くみられる。第2波による外出自粛の再要請による影響を懸念する声も一定数あり、上記の必要性の高い事業を再度停止せざるを得ない状況となる恐れも多分にあることから、既存事業に代わる高齢者支援事業なども検討していく必要があると見込まれる。

地域で取り組むべき対策として最も多かったのは、感染対策情報の周知や正確な情報発信の部分である。感染リスクを抑制するうえで最も重要なことは個人の対策であるとの意見が多く、手洗い、うがい、マスクの着用など必要な感染対策を周知する事業が必要との声が多かった。また、感染者への差別や関係者への風評被害を不安視する声も多く、感染による二次被害防ぐための啓発活動や正確な情報発信への取り組みを行う必要がある。

◇調査結果

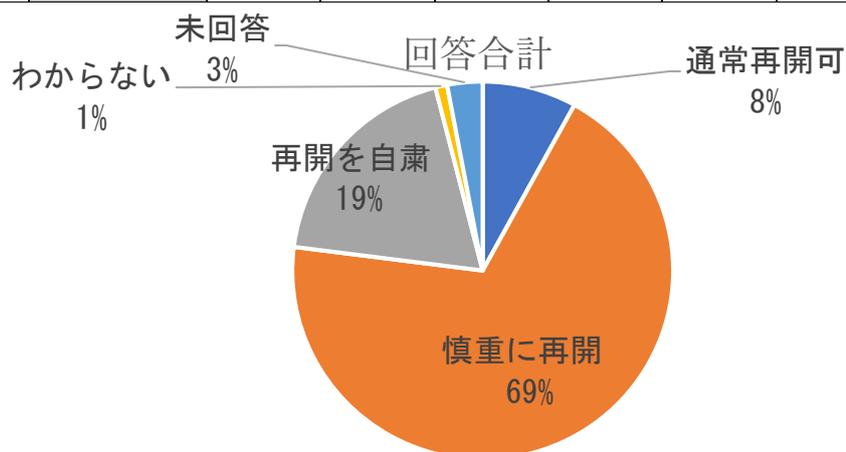
設問 1. 回答者の年齢分布

	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	未回答
割合	1%	10%	11%	29%	39%	8%	1%

設問 2. 地域活動再開について(択一式)

《全地区合計及び年代別区分》

年代別	合計	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
通常再開可	8%	0%	10%	13%	3%	11%	11%
慎重に再開	69%	33%	81%	67%	72%	65%	72%
再開を自粛	19%	33%	10%	17%	20%	21%	11%
わからない	1%	0%	0%	4%	2%	0%	0%
未回答	3%	33%	0%	0%	3%	4%	6%



■ 通常再開可 ■ 慎重に再開 ■ 再開を自粛 ■ わからない ■ 未回答

《地区別》

地区別 (割合)	荒尾	万田	万田中央	井手川	中央	緑ヶ丘	平井	府本	八幡	有明	清里	桜山	未記載
通常再開可	8%	17%	7%	5%	18%	8%	8%	10%	0%	7%	0%	6%	14%
慎重に再開	69%	48%	93%	89%	65%	67%	69%	80%	63%	66%	75%	83%	50%
再開を自粛	23%	22%	0%	0%	18%	17%	15%	10%	29%	28%	25%	11%	36%
わからない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	0%	0%	0%	0%
未回答	0%	13%	0%	5%	0%	8%	8%	0%	4%	0%	0%	0%	0%

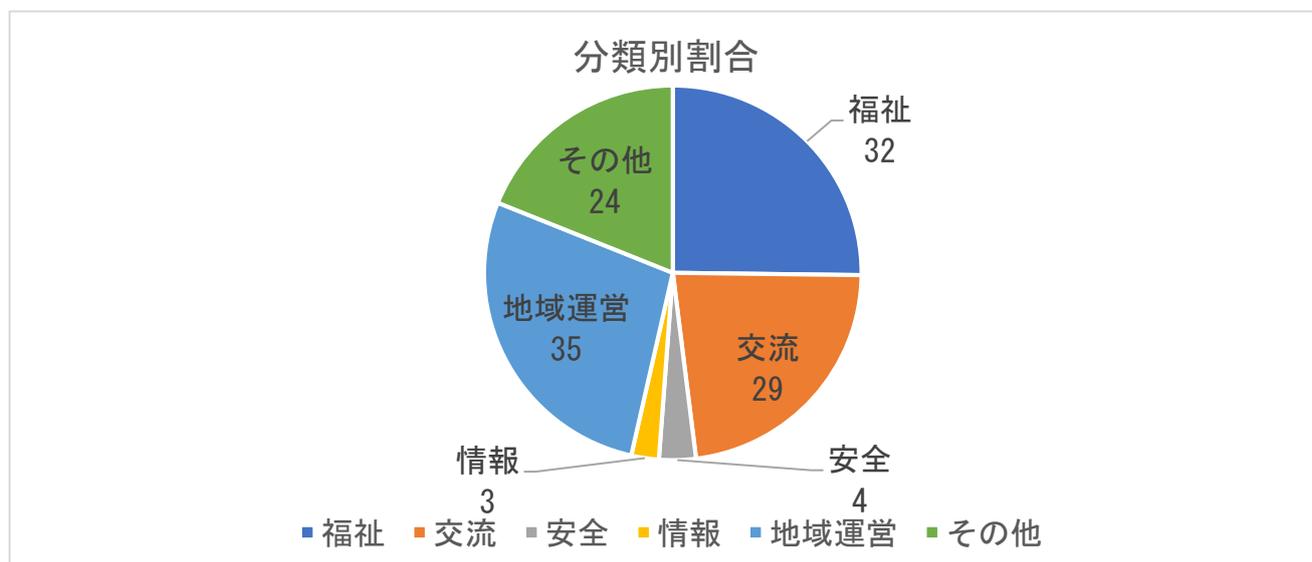
※小数第1位切り上げのため合計が100%とならない場合があります。

設問3. 必要性が高い・再開してほしいと思う会議・事業

回答者の年齢層の7割が60代70代ということもあり、いきいきサロン、健康体操の再開を望む声が最も多かった。また、交流の部門でもグラウンドゴルフや小規模の催しについては、再開してほしい、再開可能という意見が見られた。これらの事業が停滞することで、高齢者の交流の場が失われ、健康的な生活を送ることができなくなることが不安視されている。一方で、祭りなどの不特定多数の来場者が見込まれる催しについては、開催したいが今年度は難しいという意見がほとんどであり、感染リスクが高い事業としての認識が強いと思われる。

また、必要性の高い事業を実施するためにも、地域内情報の共有や既存事業の感染対策、実施の可否を議論する地区協議会や自治会の会議の場は必要であるとの意見が多く見られた。

分類	詳細	回答数	合計
福祉	いきいきサロン	16	32
	健康体操・貯筋体操	14	
	介護サービス事業	1	
	買い物支援	1	
交流	小規模催事・スポーツイベントの再開	10	29
	祭り（実施したいが難しいという意見も含む）	6	
	敬老会	5	
	カラオケ	3	
	高齢者見守り	2	
	子ども会行事	2	
	老人会	1	
安全	登下校見守り	2	4
	防災の取り組み	2	
情報	安心・安全のための情報発信	3	3
地域運営	地区協議会会議	16	35
	自治会役員会・班長会議	15	
	既存事業の感染対策見直し	3	
	公民館の利用再開	1	
その他	今年度は活動を自粛すべき	6	24
	すべての行事を行ってほしい	5	
	町内行事はすべて延期・中止としている	2	
	わからない	2	
	とくにない	9	



設問4. 新型コロナウイルスの影響で困っていること、不安に思っていること

回答数としては感染に関する不安が最も多かった。人が集まる場所に行くことで感染してしまわないかという意見のほか、自身が感染してしまった場合に家族や職場に差別や風評被害などの悪影響が出てしまうことへの不安感が見られる。

また、生活面では、緊急事態宣言下における生活の不自由さ、ストレスなどから第2波がいつくるか、いつ終息するのかといった点で、先行きが見えない不安を感じている方が多い。

地域運営の面では、地域活動の重要性を理解したうえで実行したいと考えるが、その事業がクラスターとなり、そこから感染拡大する可能性があることを考えるとその責任を負うことができない・態度決定が難しいという意見も多く見られた。

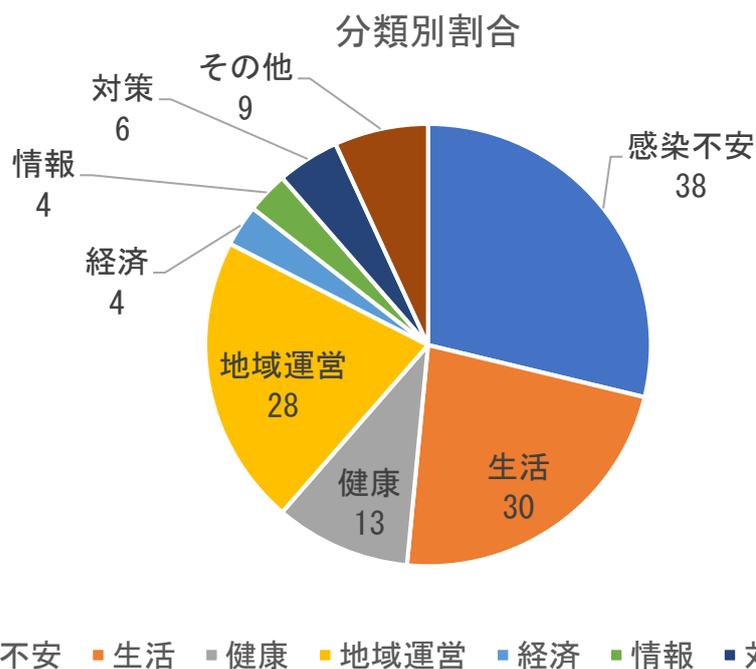
分類	詳細	回答数	合計
感染不安	感染しないか不安	10	38
	外出・人が集まる場所に行くのが怖い	10	
	コロナに対する個人の認識の差	6	
	県境移動の解禁等による感染リスクの増大	3	
	感染した場合の家族や職場への風評被害	3	
	病院に行くのは怖い	2	
	検査体制の充実	2	
	年配者の感染が心配	2	
生活	コミュニケーションがとれない	11	30
	いつ終息するか見通しが立たない	10	
	災害発生時の対応・感染対策等について	3	
	外出できないためストレスがたまる・不自由	3	
	景気悪化による減収	2	
	第2波自粛が来るかもしれない	1	
健康	マスク着用による熱中症	6	13
	運動不足	3	
	持病があるので心配	3	
	検診ができていない（再開時期がわからない）	1	
地域運営	代表者・責任者として人が集まる機会を作る決定はできない・難しい	11	28
	行事・会議が開催されない	7	
	マスクや消毒液の安定供給	5	
	再開となったときに人が集まるか心配	3	
	会議室が狭く心配	2	
経済	地域の飲食店や商店などは大丈夫か	4	4
情報	行政・教育委員会等の情報が不足し心配	2	4
	職業柄人と接触する機会が多く、近所の人たちから警戒される	1	
	情報が混雑していて混乱している	1	
対策	地域会議の時は窓を開ける間隔を空けるよう工夫している	3	6
	今年度の事業は中止と考えている	2	
	情報共有のため区民だよりを4回発行した	1	
その他	自粛のおかげで畑が作れた	1	9
	特になし	8	

設問5. 新型コロナウイルスの影響でご近所や地区内の知人が困っていること

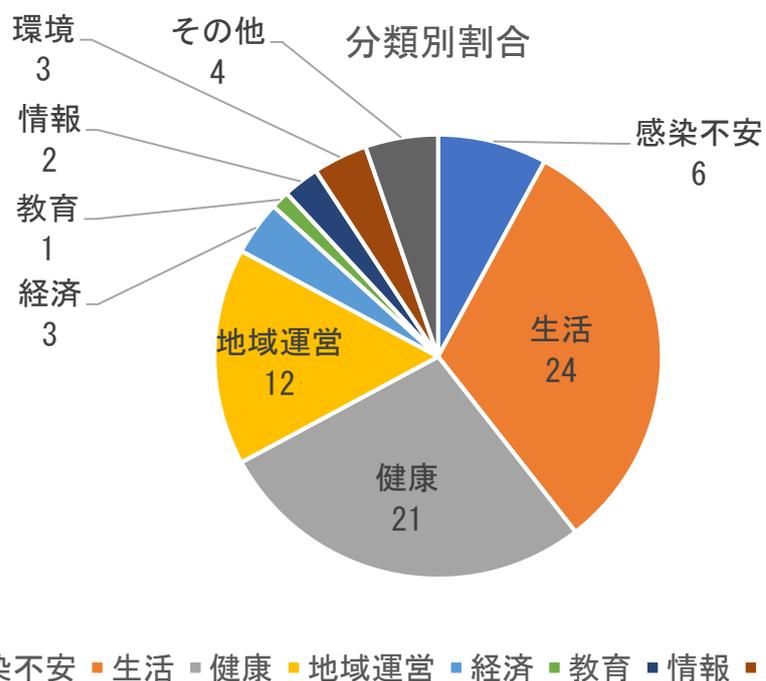
地域住民の困りごととしては、設問4の回答結果と類似するが、外出自粛や地域活動の中止によるコミュニケーションができなくなることや健康面への心配が目立つ結果となった。また、困りごとが多岐にわたっており、感染不安・感染対策（外出自粛等）による生活への悪影響を解決していくためには、個人のニーズを収集・整理し、行政や関係団体等に相談できる体制づくりが重要であると思われる。

分類	詳細	回答数	合計
感染不安	高齢者の感染が心配	2	6
	通院が怖い	2	
	お店で距離を空けることができない	1	
	家族が都市を行き来しているので心配	1	
生活	顔を合わせたコミュニケーションができない	6	24
	自粛ストレス	5	
	自粛ストレスによるご近所トラブル	2	
	入院患者の孤独感（面会ができない）	2	
	夏場のマスク着用	2	
	子どもの休校で仕事に支障が出た	1	
	1人暮らしの方の孤立	1	
	新しい生活様式（リモートなど）への適応ストレス	1	
	生活困窮者の増加	1	
	マスクをつけ忘れて出かけた時ばい菌扱いされた	1	
	かさばる買い物が大変	1	
葬儀を身内だけでされた例もある	1		
健康	高齢者の方のコミュニケーションの場がなくなることが心配（認知症の加速も懸念）	10	21
	高齢者の運動不足が心配	9	
	自由に動けない（地域の高齢者から）	1	
	熱があることで受診を断られた	1	
地域運営	地域の連携・コミュニティが希薄になる	7	12
	地域活動の停滞	2	
	行事の従事者は不安や苦勞が多いと思う	1	
	3密を避けた地域活動の再開を望む	1	
	総会ができず役員の交代ができていない	1	
経済	個人営業の店が困っている	3	3
教育	学童たちが授業に集中できない	1	1
情報	誤った情報の蔓延	2	2
環境	散らかったゴミの清掃（マスクなど）	2	3
	空き家に放置	1	
その他	できることが増えてきているので特に問題はない	1	4
	隣人にマスクを手作りで提供した（50枚）	1	
	わからない	1	
	とくになし	1	

設問4. 新型コロナウイルスの影響で困っていること、不安に思っていること



設問5. 新型コロナウイルスの影響でご近所や地区内の知人が困っていること



設問6. 感染症対策として地域で取り組んだ方がよいと思うこと

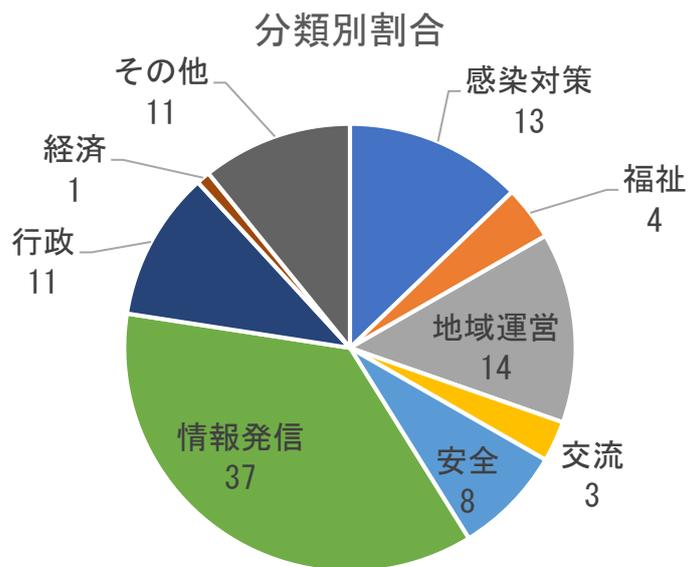
感染症対策については個人での取り組みが重要であるとの意見が複数みられ、個人での感染対策を後押しするため、個人でできる感染対策の周知や感染症に関する講演会の実施などを行ってはどうかとの意見があった。また、地域内の情報を得るための回覧・地域内広報等の情報発信の仕組みづくりの提案もあった。リモート会議等の提案もあったが、現体制で導入できる地域は少ないと見込まれる。

地域活動の再開にあたっては、何に気を付ければよいのか、そもそも実施は可能なのかという点について、国・県の指針を地域活動向けにわかりやすく示したガイドラインの提示を望む声が多かった。地域活動や集会等について、国や県の指針を参考にするとほとんどの事業が実施可能とみなすことができるものの、地域住民が安心して参加できるような対策を検討していく必要がある。

分類	詳細	回答数	合計
感染症対策	自治会でマスクや消毒液を購入するための助成・支給	8	13
	手作りマスクの配布	2	
	インフルエンザ流行期の感染症対策の検討	1	
	リモート会議の導入	1	
	接触の機会を減らす(回覧を全戸配布、対面訪問中止など)	1	
福祉	高齢者宅の訪問、見守り、電話連絡	2	4
	買い物支援	1	
	共助の仕組みづくり	1	
地域運営	事業の見直し(新しい生活様式の導入)	5	14
	マスクの着用等の対策で地域活動の再開は可能	3	
	必要に応じた中止の判断	1	
	国、行政の指針の順守	1	
	自治会の連携・相談	1	
	事業実施の際の同意書作成	1	
	専門家の支援 救護(コロナ対策)班等の仕組みづくり	1	
	消毒液、マスク等の資材をストックする場所の整備	1	
交流	感染対策を十分講じた交流事業(運動会、グラウンドゴルフ大会、どんどやなど)	2	3
	SNSを活用した子どもたち対象の交流事業	1	
安全	子どもの見守りや家庭同士のつながり	4	8
	コロナ禍の中での避難所運営 避難所の設備充実	4	
情報発信	手洗い、マスクの着用など個人対策の周知	19	37
	感染症対策講座の実施	7	
	正確な情報発信で不安は和らぐ	6	
	どこに相談すればよいか	2	
	地域の動きがわかる回覧	1	
	回覧を見ない方への連絡や情報発信方法の検討	1	
	風評被害への対策	1	
行政	行政から事業再開の目安を示してほしい	4	11
	行政の指針の説明会	2	
	市からの広報活動を活発に行ってほしい	2	
	国の指針を地域に置き換えた形で示してほしい	1	
	除草作業については行政の支援を	1	

	地域単独では不安なので行政の指導・支援を	1	
経済	地域経済の循環維持	1	1
その他	外出自粛	3	11
	検査の実施体制の充実	1	
	高齢者向けの家でできる健康体操チラシを高齢者 500 名に配布した	1	
	感染対策の周知はできていると思う	1	
	特になし	5	

設問 6



- 感染対策
- 福祉
- 地域運営
- 交流
- 安全
- 情報発信
- 行政
- 経済
- その他

◇それぞれの設問に対する主な意見

問3. 必要性が高い・再開してほしいと思う会議・事業

分類	詳細
福祉	介護の仕事をしており、高齢者の見守り安否などを行った方が良いと思います（自粛で閉じこもり傾向のため）。
	生き生きサロン等、お年寄りの集まりは本当に楽しみになってます。人と人の会話は本当にいいものです、元気になります。
交流	地域の子ども会的行事（お祭りなどはむずかしいと思うが・・・）
	全ての行事を1日でも速急に開催出来る様になって欲しい
	夏祭りは実施したいが、回りの現状を見ると、開催は難しいと思われる。役員会でもそちらの意向が強い。
安全	防災予防教室の開催、防災初動訓練実施
情報	地区協議会がコロナの為休止中で、今後の取り組みが不明。回覧等でも知らせてもらいたい。
	他の地区からのコロナに対する情報が多く、必要以上に恐れている班長さんが多いため、役員・班長会が出来ません。安心、安全のための情報を行政から知らせてほしいです。
	地域で実施されている会議や事業についての情報が伝わってこないため、よくわかりません。
	実状を検討、分析した上で、行政の方から、目やすを示してほしい。
地域運営	国の方針に基づき会議や事業を進め、地域の新しい生活様式を作りこむ
	理事会を行い、地域で現在困っていることなど話し合った方が良いと思います。コロナウイルスで環境が変わっているのです。
	必要に応じて再開するものを検討し不安であれば簡素化する等の見直す機会が必要と思う。
	コロナ対応を考慮しリスクの高い高齢者交流（健康体操など）のあり方を再考して頂きたい。
	登下校時の見守り、美化作業、地域イベントに向けた打合せ（開催可否含む）
	三密のリスクを避け、感染防止を図り、少人数の会議・事業は再開する。
	少人数の会議や事業は通常通りの開催で良いと思いますが、その他の行事は密集を防止する対策が必要と思います。
	個人でコロナ・・・に対する認識に大きな違いが有る。区の役員会一つにしても、どのような形で実施するか苦悩している。
役員会議のみ再開した方がいい。	
その他	どれも重要な地域活動ですので、できれば順次再開していただきたいと思いますが、活動に従事されている方の新型コロナウイルス感染のリスクを考えると、あまり無理なお願いはできないと思います。

問4. 新型コロナウイルスの影響で困っていること、不安に思っていること

分類	詳細
感染不安	第二波が来るのが怖い。経済がなりたつのか不安
	高血圧、心疾患等の持病があり。感染に弱いと思っております。不安である。
	老親がいるので、常に自分が、家族がコロナに感染しないか不安を持ち生活している。コロナ前から使っていた消毒関連商品や諸々が品が揃わず、代用で済ませ困っている。
	コロナと災害が重なった時、特に地震等、不安です。
	感染拡大がいつまで続くのか、都会からの行き来が増えると非常に不安だ。
生活	高齢の方のコミュニケーションができる場所や機会が失われることを心配しています。
	独居老人宅への訪問に制約があること
	おひとり暮らしの方の訪問に（2月以後）行けてない。4月におひとり亡くなっており。最近知り、訪問出来なかったことを後悔している。（電話での連絡をしていたがその方は電話もつながらなかった。）
健康	マスクを利用した行動がづらくなって来ている（夏場）
地域運営	収束の見込みがたたないのでは、上手に付き合っていく方法を見出していくしかないと思う社会活動を上手に加減しながら進めてほしい。
	地域行事等の実行の決定等の判断に悩み、その都度、市や社協に相談している。
	地域活動に参加される方は、高齢者が多い、もし、地域活動を要因とした集団感染が発生した場合は責任問題が発生するのではないかと不安です。
	いつまで続くか心配である。行事の予定が全然たてられない。活動を再開してももし地域で感染者が出たら責任を負いかねる
	まだまだこの先、地区活動は6.7.8月と行動自粛や中止をとっています。
	イベントの多くが、中止や延期となり、住民の様子が見えない状況、孤独死や体調不良。多数の人が参加する行事等がこれから先計画してよいのか、迷う所です。
	地区の行事、活動が中止・延期等によりコミュニケーションが薄れるのでは今は辛抱の時。自粛解除し、活動再開した時に（イベント開催時）人が集まるか少し不安です。
経済	不安に思うことは、地域の商店、飲食店等の営業収入、経営は大丈夫なのか
	自営業をしていますがお客様が少なくなったこと。先行きを考えるととても不安です。
情報	高齢者の2人暮らしや、一人暮らしの方の、情報がどこまで伝わっているのか？心配でチラシを作って配布はしましたが！
	行政・学校教育委員会の情報が不足していて今後が不安である
対策	マスク、消毒液の安定供給

問5. 新型コロナウイルスの影響でご近所や地区内の知人が困っていること

分類	詳細
生活	1人暮らし、複数世帯高齢者の買い物、通院にバスを利用している人(3密といっても、わからない人がいる)
	生活に困っている方には早期対応を
	独居老人等、訪問もなかなかしてもらえず、淋しい思いをしている方が多い。
	町内の高齢者さんが、家でこもる事でストレスが溜まりヒステリックになられていると思います。近所で口喧嘩したり、妬み・僻みが多く見られるみたいです。
	風評被害、近所付き合いが希薄になり上辺の情報に振り回されがち
	あまり察知していませんが、孫のお守が大変。昼食を摂らせるのが大変で食費がかさみすぎたという話は聞きました。
	地区の活動が早く始まればと思います。(三密をさけて)
	サロンやグランドゴルフが出来なくなり、とても淋しいです。逢った時、声をかけ合う様にしています。
	地区の方との話し合い、付き合いが出来ないので、早く皆様と楽しくカラオケやゲーム等実施したいと思っています
健康	コロナウイルス関係で、一人住まいの方は、一日誰とも話をしない日がありますとのこと。
	毎日のようにプールで歩行訓練が出来たのが今は家にいる事で足がだんだん歩けなくなるようでこわいと言っています。
	家の中にこもりがちの為、認知症に進むのではないかと?
	コロナ自粛で運動不足や外出をひかえている高齢者、子供たち等これから夏が来るので、熱中症や脱水症状などおこさないか心配。
	ほとんどの行事、会議が自粛になり話が出来ないので淋しいとか。体操、サロンなど体を動かさないので散歩に行っても転びやすいし、体力が落ち疲れるなどの話が多かった。
地域運営	集会がないのは困るけど、それ以上にコロナは怖い。
	地域の総会ができず、役員の交代もできず、かわいそうに思う。
	独居高齢者特に不自由の方の対処について苦慮しています。
経済	商売をされている方等今後不安に思われている方も多い
	旅行や外出、外食が出来ない。うつたらと思うと不安です。個人営業の店がこまっている。
情報	高齢の独居老人等は「特定給付金」支給と言われても、その事自体が理解出来なく、手紙そのものを開封をしていないところが見られました。
	匿名通報ダイヤルによる参加者への嫌がらせ、又意識低下。
その他	隣人にマスクを50枚作ってあげ、喜ばれました。

問6. 感染症対策として地域で取り組んだ方がよいと思うこと。

分類	詳細
感染対策	消毒薬・マスクについて公民館利用分について購入する際の助成等は無いか。(支給含む)
	会議は書類やリモートで対応し、イベントは、治療方法が整うまで自粛すべき。
	消毒液やマスクのストックが必要。ただし公民館等がない為ストックする場所がありません。
地域運営	屋外で行う行事の時に改めて予防や対策を指導してほしい
	個人的には緊急事態宣言解除、学校再開が活動再開のスタートと考える。対策を講じればある程度の活動はして良いと思う。
交流	子供たちが笑顔になる活動が出来ないか、SNSを通じて情報交換など役員のやり取りもしている。地域の中で子どもの見守りや家庭どうしのつながりを継続させる取り組みが出来れば。
安全	災害と重なった場合の避難方法や公民館を避難先とした場合の具体的な対策を立案する。
	失業による防犯が必要。腕章を地区公民館におき、散歩時に装着、人を守り、地区を守る。
	コロナ時の大雨や台風避難時の避難先の振り分けシミュレーションの取り組み
情報発信	高齢者は家に閉じこもりが多い為、健康維持する簡単な体操イラスト配布、数人で散歩時には間隔を取って楽しみ、コロナに対してのイライラのストレスを解消する様に伝えています。
	コロナウイルスに関する正しい知識を周知撤退していくべき。現在回覧のお知らせや公民館の掲示板に情報を掲載している。
	三密・自粛のことを高齢者さんでも分かりやすいマニュアルのチラシ作成したらどうか。
	予防や対策の指針など、具体的な”やるべき行動”等について地区全体で取り組めるように説明会(どうやるか?の問題があるか)や実地指導など
	荒尾市29ヶ所500名の高齢者に対して家庭で出来る簡単な体操をプリント作成配布して高齢者の体力を守って頂くお願いをしました。
	区で広報(区民だよりなど回覧、戸別配布)をしている。市の広報活動を活発にして欲しい。
	出前講座を活用し、感染予防対策のノウハウを地域住民にご教示願いたい。
ニュースなどで感染した方への差別が大きな問題になっています。行政や関係機関と連携して、地域でこのような問題が起こらないよう、差別についての研修などに取り組んでほしい。	
行政	啓発意識(感染防止に対する)に個人差がある為、国全体で示している規制段階緩和の目安を地域に置き替えた形で周知しても良いと思う。
	コロナ自粛で地域活動が出来ていない中、あらお広報をみると、各種講座、教室などが募集されている。行政指導の矛盾・違和感を感じる。行政としてある程度の基準を示して欲しい。出来ない理由探しより、どうすれば出来るかを示して欲しい。
その他	地域で取り組みではなく個人個人が感染予防に感心を持つことだと思います。
	予防接種や薬の処方、PCR検査等、感染拡大対策が取れない、取りようがない場合、地域で取り組めることは少ないと感じます。

◇ (参考) アンケート様式

新型コロナウイルスの影響を受けた
地域活動に関するアンケート

荒尾市地区協議会会長会

昨今の新型コロナウイルス感染拡大に伴い生じている地域課題等を把握するとともに、今後の地域活動の参考とするため、本アンケートの回答にご協力をお願いします。

1. お住まいの地区、ご自身の年代をお答えください。

地区名	地区
年代	<input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80代以上

2. 6月以降の地域活動の再開について次の項目で一番当てはまるものはどれですか。

通常どおり再開してよい 慎重に再開すべき 再開を自粛すべき わからない

3. 現在地域で行われている会議・事業で必要性が高い・再開してほしいと思われるものがあればご記入ください。

()

4. コロナウイルス関連で、ご自身で困られていること、不安に思われていることなどがあればご記入ください。

()

5. コロナウイルス関連で、ご近所や地区内のお知り合いなどで困られていることがあればご記入ください。

()

6. 感染症予防やコロナ対策等について、地域で取り組んだ方がよいと思うことがあればご記入ください。

()

以上でアンケートは終了となります。ご協力ありがとうございました。

